

輝勢会研修実施報告書

報告者： 草津市議会
輝勢会： 小野 元嗣

(ア) 研修の概要

(1) 日時

令和7年2月12日(水) 15:00～16:15

(2) 会場

全員協議会室

(イ) 参加者(議員：順不同)

中嶋 昭雄	小野 元嗣	山元 宏和	横江 政則	服部 利比郎
中島 美德	井上 薫	福田 茂雄	伊吹 達郎	

(他の会派の議員)

西村 隆行	遠藤 覚	田中 香治	野村 友子	杉江 昇
先成 俊士				

参加者(執行部：順不同)

副市長		辻川 明宏
環境経済部	部長	田中 三男
環境経済部	専門理事	太田 一郎
環境経済部商工観光労政課	課長	川原 圭一
環境経済部商工観光労政課	課長補佐	宇野 康
環境経済部商工観光労政課	主査	河上 大樹
環境経済部農林水産課	係長	中嶋 行範
都市計画部	部長	一浦 辰己
都市計画部都市計画課	課長	安土 隆文

(ウ) 研修内容

半導体業界の現状と今後の動向

～関西半導体産業活性化のための立命館大学半導体応用研究センターの取り組み～

(エ) 講師

立命館大学 半導体応用研究センター長・教授・RARA フェロー 金子 健太郎 先生

(オ) 講演の概要

【国内の半導体産業を取り巻く状況】

- ✓ 日本の半導体産業の世界シェアは、かつて 50%を誇っていたが、現在は 10%以下。
しかし、外資工場の恩恵を受け生産能力は劣っていない。

- ✓ 国内の工場は、東北、中部、中国、九州に生産拠点があるが、その理由は、大学が支援する研究拠点の存在していることである。
- ✓ 関西には半導体研究を支援する大学がないため、今後の外資工場を誘致するには不利である。

【半導体の今後の展望】

- ✓ 生活をする上で半導体は欠かせない。今後ますます市場は拡大する。
- ✓ シリコンを素材とする点では、特定の材料の原産国に独占されることはない。

【滋賀県の可能性】

- ✓ 自身が研究者としている立命館大学から、滋賀県知事に対して研究所設置を要望している。
- ✓ 外資工場の誘致には、「いかに半導体研究に熱心であるか」のアピールが不可欠。
- ✓ 三重県は半導体工場が集積し、製品出荷ルートとして、空港、港があり、近接する滋賀県南部地域には十分に地の利がある。
- ✓ 自らの研究室は、新素材を提供することで国内大手企業と連携している。
- ✓ 半導体研究所の県内設置とあわせて、半導体関連企業の誘致が実現すれば、市内経済に好影響を及ぼす。

(カ) 所見（感想）

- ✓ 令和6年度から市内における企業立地に向けた可能性調査が進められているが、立命館大学を擁する本市では、道路、鉄道の交通網、人口集中による労働力確保という「地の利」を最大限に活かす方向ですすめることが重要。
- ✓ 金子教授が研究されておられる半導体は、将来性の観点からも集積を目指す産業分野として大いに期待できるものであり、引き続き、半導体業界の動向には注視が必要。
- ✓ 金子教授のように新技術の開発研究を進める技術者と新技術を目指すスタートアップ企業、さらにスタートアップ企業を支援するインキュベーターを市内に定着させる取り組みも不可欠である。

(キ) 写真（添付）





文責：小野 元嗣